

令和8年 3月17日 (火)

あさひの日だまり

NO.37

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～令和7年度卒業式を迎えました～

卒業生とご家族の皆様には幸多からんことを

ご家族の皆様、地域の皆様、今年度1年間の辰野東小学校の教育活動へご支援ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。本校は本日令和7年度の卒業式を迎えました。卒業生48名の卒業式へ向かう姿は大変立派でした。私たち教職員一同卒業生の後ろ姿に「幸多かれ」と心を込めて声援を送らせていただきました。

卒業生のご家族の皆様ご来校ありがとうございました。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様本当にありがとうございました。そして、日々色々なところで色々な形で子どもたちと学校を支えて下さった地域の皆様には心より感謝申し上げます。

卒業式で読ませていただきました式辞を掲載しお礼の言葉とさせていただきます。よろしければ目を通していただければと思います。

式辞

辰野町教育長 宮澤和徳様 PTA会長 大橋寿朗(としろう)様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、このように令和八年度卒業式を行えることを心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん。本日はご卒業おめでとうございます。

ご家族の皆様。お子様の卒業を職員一同心よりお祝い申し上げます。

私は校長として辰野東小学校が「楽しい学校」になることをずっと願ってきました。

昇降口で皆さんと挨拶を交(か)わすとき、皆さんの笑顔に出会うと心から嬉しい気持ちになりました。

うつむき加減の寂しそうな表情に出会うと、学校があなたにとって楽しいところになっていないかもしれないと思い、申し訳ない気持ちになりました。

卒業生の皆さんの未来に楽しい出来事がたくさん起こりますように。心から願っています。

私は思います。「未来」が皆さんを楽しませてくれるために何か楽しい出来事を用意してくれているのではありません。「楽しんでやるぞ!」という皆さんの心の持ち方が「楽しさ」との出会いを生むのです。

無関心や最初から無理だと決めこんでいたら「楽しい」出来事は逃げて行ってしまいます。

果敢に「挑戦」して下さい。「挑戦」は楽しいです。失敗したとしてもそれは次の「挑戦」の機会を与えてくれるチャンスです。

校長先生も人生を楽しむために皆さんに負けないようにこれからも「挑戦」を続けます。

竹トンボを作りながら考えたことを一つお話します。

ここに一本の竹とんぼがあります。この竹トンボは軸の穴をあけるときに位置が真ん中から横にずれてしまいました。しかも羽にひびが入ってしまいました。ひびをアロンアルファで補強してあります。

この竹とんぼは飛ぶと思いますか。(実際に飛ばしてみる)

実際に飛ばしてみると見事に飛びました。正直に言うときこの竹トンボはうまく飛ばないだろうと思いました。

見栄えの悪さには関係なく勢いよく舞い上がるこの竹トンボを机の上において何度も見返しました。そして「あなたはすごいね」と思ったんです。

私は小学校の時よく忘れ物をしました。「どうして自分はこんなにダメなんだろう」と思っていました。この先も友だちみたいにちゃんと生活できないんじゃないかと思っていました。皆さんの中にも忘れ物が多い人いると思います。勉強や運動が苦手な人だっていると思います。早起きや朝の用意が苦手な人もいます。この先何かにつまずいて自信を失う人もいるでしょう。そのとき皆さんは、自分がうまくできないことに引け目を感じる

かもしれません。

それは竹トンボの軸が少し横にずれていることに似ているように思うのです。この竹トンボは決して完璧な形ではありません。でも不完全さを持ち合わせたままこの竹トンボは空にしっかり舞い上がりました。

上手くできない自分やうまくいかない自分にはすぐに目がいきます。でも皆さんの中には自分ではまだ気が付かない空に舞い上がる竹トンボのようなすごい力が潜んでいます。

「挑戦」が秘められた皆さんの力に気付かせてくれます。さあ皆さん、未知の自分と出会う楽しい旅の始まりです。きっと楽しい旅になることでしょう。元気に行ってらっしゃい。

以上で学校長の式辞を終わります。

令和八年三月十七日

辰野町立辰野東小学校長 片桐 広文

この紙面をお借りしまして令和七年度末の人事異動により本校から転退職する職員を紹介します。

それぞれの職員はそれぞれの職務を担い子どもたちのために精一杯尽くしてまいりました、しかしながら子どもたちの願いやご家族の願いに答えられたかという不安な部分もございます。それは私自身も同様です。この場をお借りして学校を代表するものとしてお詫びいたします。残された職員は来年度以降さらに精進し子どもとご家族のために職務に邁進してまいります。

本来ならば一人ひとりよりお礼の言葉をお伝えすべきところですが名前のみの紹介とさせていただきます。大変失礼いたしますがお許しください。

転退職職員

異動職員氏名		転出先
太田 幸穂	1年担任	埼玉県 義務教育
丸山 伸一	4年担任	伊那市立西箕輪小学校へ
小池 葵	きらめき1担任	諏訪市立四賀小学校へ
大槻 航介	外国籍児童支援	辰野東学童へ
矢萩 美貴	少人数学習習集団形成兼英語専科	伊那市立伊那北小学校へ
北川 里恵	外国語学習活動支援員	岡谷市立長地小学校へ
荒井 孝子	事務主幹	箕輪町立箕輪東小学校へ
大嶋 英美	ほっとサポート	辰野町立辰野南小学校へ
野村 英且	庁務員	ご退職
熊谷 芳美	調理員	辰野町立辰野南小学校へ
片桐 広文	校長	退職
吉澤 蒔乃	主任学童支援員	辰野西学童へ
米山 智子	学童支援員	両小野学童へ

私事で大変失礼いたします。4年間辰野東小学校にて大変お世話になりました。縁をいただき辰野東小学校へ4年前に転任してまいりました。初めての小学生との生活ということで正直申しまして「どう接したらよいの」と戸惑う気持ちもありました。その気持ちを解きほぐしてくれたのは素直でストレートな子どもたちの純粋な心でした。そして学校への支援と協力をいとわないご家族の皆さんの優しさでした。地域の皆さんの学校へ寄せてくださる温かな思いにも何度も助けていただきました。最期の勤務地としてこの学校で勤めさせていただけたことは本当に幸せでした。

本日退任の式で読ませていただきました挨拶の文を載せさせていただきます。お世話になりました皆様への感謝の気持ちを込めました。お読みいただけましたら幸いです。

このように私の退任のためにお時間を作ってください心から感謝いたします。

私にとってこの辰野東小学校での生活は本当に充実していて楽しい毎日でした。

朝 昇降口で出会う皆さんの素敵な笑顔に「よし今日も頑張ろう」というエネルギーをもらいました。

一生懸命に授業や児童会を頑張る皆さんの姿を見て、私も皆さんのために精一杯尽くさなくてはいけないという気持ちになりました。

悩みを抱えて悲しんでいる皆さんに出会おうと思わず自分のことのように悲しい気持ちになりました。そして少しでも力になればと願いました。

私の校長としての心の支えは常に皆さんの存在でした。

皆さんと会えると思うとこの学校へ来るのが毎日本当に楽しみでした。

今日まで本当にありがとうございました。

私の家はもともと専業農家です。おじいさんもお父さんもお米や野菜を作ってそのお金で私たち家族を支え私を育ててくれました。朝ごはんも夕ご飯も自分の家の田んぼと畑で育てたものが食卓にのぼりました。私のこの体は自分の家の田んぼと畑からいただいた物でできています。

今日までの39年間私は教師として学校に勤めてきました。自分を育ててくれた田んぼと畑から離れた生活でした。これからは自分を育ててくれた田んぼと畑に感謝しながら土と触れ合う農業の世界へ戻ります。そしておいしい野菜作りに「挑戦」します。

皆さん、皆さんの未来はとても明るいです。何度も何度も挑戦のチャンスに出会えます。「挑戦」を思いっきり楽しんで下さい。

教育委員閣様、PTA会長大橋様、副会長宮澤様、藤澤様、卒業式に引き続きご臨席を賜り心より感謝申し上げます。

閣様がリードして下さった緞帳新調への「挑戦」の道。PTA役員の皆様にお力添えいただいた色々な学校行事の場面。皆様のご支援とご協力で成し得た出来事は私にとってかけがえのない思い出です。本当にありがとうございました。

4月になりますと新しい校長先生が辰野東小学校へ来られます。素敵な校長先生に違いありません。新しい校長先生と先生方と皆さんで新しい辰野東小学校を創って行って下さい。

それではみなさんさようなら。今まで本当にありがとうございました。